

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	現代の国語	② 単位	松本 浩昌
指導目標	実社会に必要な国語の知識や 技能を身に付けるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	新編現代の国語
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	P1～P11	こそそめスープ ルリボシカミキリの青	5/30（金）	○筆者の人間に対する考え方を理解する。 ○情報メディアに潜む危険や依存について考える。 ○「鹿おどし」と「噴水」の違いを理解する。 ○都市部の緑の在り方についての筆者の考えを理解する。 ○筆者の考えを読み取り、日本文化に対する関心の幅を広げる。 ○筆者の行動によって周囲がどのように変化していったかに注意する。 ○筆者の仕事と生活の変化と姿勢をまとめる。 ○父と弟のひしこ漁の様子を、出港から順を追って確認する。 ○取り上げられている具体例に注意しながら筆者の主張に対する自分の考えを持とう。 ○戦争体験を語り継いでいくことの意義について考え、話し合おう。 ○さまざまな視点から情動を捉え、筆者の考えを確認しよう。 ○筆者が考える「自立」の意味を確認し、これからの社会を生きるうえで必要になってくる力がどのようなものかを考え身につけよう。
2 (SC①)	P24～P43	未来をつくる想像力 水の東西	6/30（月）	
3 (SC)	P68～P86	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色	7/31（木）	
4 (SC)	P94～P115	鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁	9/30（火）	
5 (SC②)	P142～P158	美しさの発見 りんごのほっぺ	10/31（金）	
6 (SC③)	P166～P187	不思議な拍手 真の自立とは	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	言語文化	② 単位	松本 浩昌
指導目標	上代（万葉集の歌が詠まれた時代）から近現代 につながる我が国の言語文化への理解を深める			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から1回分減免	教科書	新編言語文化
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 （SC回）	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 （SC）	P10～P35	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ	5/30（金）	◆随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を正確に読み取る。 ◆小説を丁寧に読んで、人間関係や疑似的感情を味わう。
2 （SC）	P50～P59	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た	6/30（月）	◆短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。 ・5音、7音のリズムに慣れ、字余り・句切りなどの効果を理解する。
3 （SC）	P72～P103	羅生門 夢十夜	7/31（木）	小説の登場人物を通して、人の感情を汲み取る。
4 （SC）	P138～P163	徒然草 枕草子 折々のうた	9/30（火）	時代は変わっても、変わらない人間の営みを知る
5 （SC①）	P170～P195	伊勢物語 平家物語 奥の細道	10/31（金）	古典作品を通して、個人の生き方を学ぶとともに、古語の知識を深める。 登場人物の人間関係と心情を理解する。
6 （SC②）	P210～P253	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	11/28（金）	訓点の種類と用法を学び、漢文を訓読できるようになる。 「置き字」「再読文字」を理解する。 漢詩の種類、有名な漢詩の作品と作者を学ぶ。

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	論理国語	4 単位	松本 浩昌
指導目標	多様な文章等を多面的・多角的に理解し，創造的に思考して自分の考えを形成し，論理的に表現する能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から2回分減免	教科書	新編論理国語
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P8～P24	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために	5/30（金）	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。
2 (SC②)	P26～P54	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ		戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。
3 (SC③)	P56～P74	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石器人」	6/30（月）	「人間」と「コンピューター」の違いを理解する。
4 (SC④)	P76～P100	・思考の肺活量 ・安心について		比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深めよう。
5 (SC⑤)	P102～P122	・弱肉強食は自然の摂理か ・複数の「わたし」	7/31（木）	筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。
6 (SC⑥)	P124～P166	・はじめに「言葉」がある ・楽に働くこと、楽しく働くこと		筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考えよう。 楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解しよう。

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	論理国語	4 単位	松本 浩昌
指導目標	多様な文章等を多面的・多角的に理解し，創造的に思考して自分の考えを形成し，論理的に表現する能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から2回分減免	教科書	新編論理国語
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

7 (SC⑦)	P168～P184	・最初のペンギン ・豊かさと生物多様性	9/30（火）	タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考えよう。 論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性和課題について理解を深めよう。
8 (SC⑧)	P186～P208	・物語の外から ・カフェの開店準備		
9 (SC⑨)	P210～P230	・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき	10/31（金）	アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。 「言葉」と「もの」の関係性を理解する。 人間がものを見るときにどのように見ているのかについて、筆者の考えを理解する。
10 (SC⑩)	P232～P260	・言葉は「ものの名前」ではない ・科学的「発見」とは		
11 (SC⑪)	P262～P280	・知識における作者性と構造的性 ・もう一つの知性	11/28（金）	本とネット上のコンテンツそれぞれの「責任の所在」を理解し、判断する。 科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深めよう。 小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考えよう。
12 (SC⑫)	P282～P301	・ホンモノのおカネの作り方 ・未来のありか		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	文学国語	4 単位	松本 浩昌
指導目標	小説，随筆，詩歌，脚本等に描かれた人物の心情や情景，表現の仕方等を読み味わい評価するとともに，それらの創作に関わる能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 2 回分減免	教科書	文学国語
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、 5 段階評価

レポート回 （SC回）	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 （SC①）	P8～P33	・ 光の窓 ・ 雨月物語 ・ 山月記	5/30（金）	絵画に対する評価・印象の違いを理解する。 本文に掲載されている内容から必要な理由を選択する。 登場人物の性格・特徴について、漢詩について理解する。 情景の表現を正しく読み取る。 正しい数え方の表現を選択することができる。 詩の内容と種類について理解している。
2 （SC②）	P34～P56	・ 窓 ・ 言葉を生きる ・ 詩と感情生活		
3 （SC）	P58～P92	・ 山椒魚 ・ 沖縄の手記から	6/30（月）	話に登場する主人公（山椒魚）と小動物との関係について理解する。 本文に描かれている悲惨な戦争を繰り返さないためには何が必要かを考え。 詩の内容を理解し、作者の感性に触れる。 短歌の内容を理解し、句切れとリズムを知る。 詩と自分を照らし合わせ、自分ならどのような行動をするかを想像する。
4 （SC）	P94～P114	・ 鉄 ・ 竹 ・ 氷訣の朝 ・ 硝子の駒 ・ モードの変遷		
5 （SC）	P116～P148	・ ころも	7/31（木）	登場人物の心情を理解し、その意図を本文から汲み取る。 童話「赤頭巾」が生まれた場所を理解している。また、「赤頭巾」の内容が書かれた部分を本文から抜き出すことができる。
6 （SC）	P150～P188	・ 文学のふるさと ・ 文学の未来 ・ 鞆 ・ あの朝		
7 （SC③）	P190～P216	・ 国語から旅立って ・ 書かれた風景の中へ ・ 檸檬		著者の造語を理解し、著者の心情に対する理解を深める。 登場人物の心理描写とその背景、因果関係に影響された心情を汲み取る。

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	文学国語	4 単位	松本 浩昌
指導目標	小説，随筆，詩歌，脚本等に描かれた人物の心情や情景，表現の仕方等を読み味わい評価するとともに，それらの創作に関わる能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 2 回分減免	教科書	文学国語
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、5 段階評価

8 (SC④)	P217～P246	・ コンビニの母 ・ 夏の姿 ・ 帰途 ・ 小諸なる古城のほとり ・ 金剛の露 ・ 平気	9/30 (火)	筆者の独特な言い回しを的確に読み取り、筆者の目を通した現代社会の人間関係を掴む。 文語詩、韻文のリズムを理解し、近代俳句の成り立ちを学ぶ。
9 (SC)	P248～P290	・ 空っぽの瓶 ・ クレールという女 ・ 父と暮せば	10/31 (金)	抽象的な表現から具体的な事物をくみ取る。 言語の持つ文化的背景を掴む。 戦争の悲惨さと生きることを深く考える。 小説「舞姫」の内容を理解し、主人公の性格・立場をくみ取る。
10 (SC)	P292～P328	・ 舞姫		
11 (SC⑤)	P330～P346	・ 演技する「私」 ・ 映画の可能性のために	11/28 (金)	評論文で多用される語彙、概念を読解する。 筆者の提起する内容を把握し、近現代の文学史を押さえる。 登場人物の気持ちを本文を読み、推察することができる。
12 (SC⑥)	P348～P374	・ 葉桜と魔笛 ・ 蠅		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	国語表現	4 単位	松本 浩昌
指導目標	表現の特徴や効果を理解した上で、自分の思いや考え をまとめ、適切かつ効果的に表現して他者と伝え合う能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 2 回分減免	教科書	国語表現
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P16～P25	1 分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達 ポイント❶・❷	5/30（金）	・冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで、「表現とは何か」について考える。
2 (SC①)	P26～P33	分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達 ポイント❸・❹		
3 (SC②)	P34～P43	2 身体で表現しよう	6/30（月）	・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく 伝える方法を考える。
4 (SC②)	P46～P53	3 「問い」を考えよう インタビュー ステップ❶・❷		
5 (SC③)	P54～P61	3 「問い」を考えよう インタビュー ステップ❸・❹	7/31（木）	・表現の工夫が他者 とのやりとりで 重要であることを理解し、言葉を 吟味し適切に使 おうとする態度 を養う。
6 (SC③)	P66～P79	4 「自分」を表現しよう 面接・自己PR		

7 (SC④)	P82～P97	5 論理的な文章を書こう 小論文 A テーマ型 小論文	9/30 (火)	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・実用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。
8 (SC④)	P98～P109	5 論理的な文章を書こう 小論文 B 課題文型 小論文		
9 (SC⑤)	P112～P123	6 話し合う力をつけよう ファシリテーション	10/31 (金)	・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと，それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ・正確な情報を見極め，その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。
10 (SC⑤)	P140～P151	7 情報活用力を身につけよう 広報資料		
11 (SC⑥)	P154～P165	8 説得力のある提案をしよう プレゼンテーション	11/28 (金)	・正確な情報を見極め，その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。 ・表現の工夫が他者とのやりとりで重要であることを理解し，言葉を吟味し適切に使うとする態度を養う。
12 (SC⑥)	P168～P183	9 表現を楽しもう 創作		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	国語	古典探究	4 単位	松本 浩昌
指導目標	古典を主体的に読み深めることを通して、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から2回分減免	教科書	新編古典探究
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P10～P28	・宇治拾遺物語／・十訓抄／・徒然草	5/30（金）	①古文の内容や和歌の表現を理解できる ②尊敬語・謙譲語、結びの変化を理解する。 ①古文を現代仮名遣いにできる ②作品内容と和歌世界を理解する
2 (SC②)	P29～P52	・方丈記／・竹取物語 ・小倉百人一首の世界		
3 (SC③)	P54～P74	・土佐日記／・更級日記／・平家物語	6/30（月）	①月の異名、古語を理解する ③登場人物の心情を把握できる ①近世文学から庶民の生活を知る ③登場人物の人柄を把握する
4 (SC④)	P76～P92	・世間胸算用／・おらが春／・枕草子		
5 (SC⑤)	P94～P116	・伊勢物語／・大和物語／・大鏡	7/31（木）	①平安貴族の生活慣習や習俗を知る ②和歌の表現技法、背景、作者の心情を理解す ①和歌の評価と歌合わせ、当時の歌仙と呼ばれた人の歌論を知る ②宮中の官位や職制を学ぶ ③登場人物達の心情表現を読解できる
6 (SC⑥)	P118～P138	・袋草紙／・無名抄 ・古今和歌集仮名序 ・源氏物語		
7 (SC⑦)	P140～P156	・近世俳句抄／・去来抄／・三冊子 ・古事記	9/30（火）	①近世俳句の季節のずれを理解する ②著名な俳人の特性を把握する ①漢文の再読文字や反語表現を理解する ②漢文を書き下し文に直し、内容を理解する
8 (SC⑧)	P158～P180	・小話一四編／・唐詩一八種 ・文一二編		
9 (SC⑨)	P182～P206	・項羽と劉邦／・寓話一五編	10/31（金）	①「史記」の人物と心情を読み取る。 ②中国の戦国時代の思想家とその思想の概要を ①訓読する語句に注意しながら、登場人物の心情を理解する。
10 (SC⑩)	P208～P226	・十八史略／・小話一三編		
11 (SC⑪)	P228～P248	・古体詩一五首 ・廉頗と藺相如	11/28（金）	①近体詩と古体詩の相違点を学ぶ ②詩の主題を掴む ①諸子百家の思想を理解する。 ②日本人の漢詩の素養を把握する ③漢詩の主題と比喻を理解する
12 (SC⑫)	P250～P270	・儒家と道家 ・詩一二首 ・信玄と謙信		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	地理歴史	地理総合	② 単位	後藤 松太郎
指導目標	地図や自然地理的事象、人文地理学や地誌学を通じた持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察できるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	地理総合
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、 5 段階評価

レポート回 （SC回）	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 （SC①）	P5～P36	第 1 編 地図や地理情報システム 第 1 章 私が暮らす世界 第 2 章 地図や地理情報システムの役割	5/30（金）	○地図の特徴と表現できる情報 ○日常生活の中の地図 ○交通機関や情報通信網の発達 ○世界の多様な文化 ○世界の大地形 ○地形や気候と人々の暮らし ○食生活や農業の地理的分布 ○工業の特色や工業立地 ○情報化が産業にもたらした変化 ○人口問題と居住・都市問題 ○食糧問題 ○地球的な諸課題 ○日本の地形、気候の特徴
2 （SC①）	P37～P67	第 3 章 資料から読み取る現代世界 第 2 編 国際理解と国際協力 第 1 章 生活文化と多様な地理的環境 1 節 生活文化の多様性と国際理解	6/30（月）	
3 （SC①）	P68～P91	2 節 生活文化と自然環境①地形 3 節 生活文化と自然環境②気候	7/31（木）	
4 （SC②）	P92～P134	4 節 生活文化と産業 第2章 地球的課題と国際協力 1 節 地球環境問題 2 節 資源・エネルギー問題	9/30（火）	
5 （SC②）	P135～P172	3 節 人口問題 4 節 食料問題 5 節 居住・都市問題 6 節 民族問題 7 節 持続可能な社会の実現をめざして	10/31（金）	
6 （SC②）	P173～P217	第 3 編 持続可能な地域づくりと私たち 第 1 章 自然環境と防災 第 2 章 生活圏の調査と地域の展望	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	地理歴史	地理探究	3 単位	後藤 松太郎
指導目標	地理的事象を調べ、その理由や意味を説明できるようにし、物事に関して地理的視点だけでなく多様な視点から社会的課題や影響を考察できるようにする			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	地理探究
レポート課題回数	9 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	3 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）	
1 (SC①)	P5～P33	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章自然環境	5/30（金）	○世界の地形 ○日本の自然環境と自然災害	
2 (SC①)	P34～P59	2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活			
3 (SC①)	P60～P85	4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業	6/30（月）	○環境問題，産業の発展と社会的分業 ○日本の自然環境と自然災害	
4 (SC①)	P86～P111	2節 農林水産業 3節 食料問題 4節 エネルギーと鉱産資源	7/31（木）		○農林水産業，食料問題 ○エネルギーと鉱産資源 ○資源・エネルギー問題 ○工場の立地と工業地域の変容 ○第三次産業
5 (SC①)	P112～P140	5節 資源・エネルギー問題 6節 工業の立地と工業地域の変容 7節 第三次産業			
6 (SC②)	P216～P243	第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア	9/30（火）	○東アジア，東南アジア，南アジア ○西アジアと中央アジア ○北アフリカとサハラ以南アフリカ ○ヨーロッパ	
7 (SC②)	P244～P265	4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ			
8 (SC③)	P266～P287	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ	10/31（金）	○西アジアと中央アジア ○北アフリカとサハラ以南アフリカ ○ヨーロッパ ○オセアニア，北極・南極 ○日本の地域構造の変化 ○持続可能な国土像の探究	
9 (SC③)	P288～P313	10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を読み解く 2節 持続可能な国土像の探究	11/28（金）		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	地理歴史	歴史総合	② 単位	後藤 松太郎
指導目標	過去の出来事や人物、物事のつながりや意義を理解し、歴史を通じて社会的課題の解決や文化的価値観を考察できるようにする			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から1回分減免	教科書	新選 歴史総合
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P7～P51	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1 節 近代化への問い 2 節 結び付く世界と日本の開国	5/30（金）	○18～19世紀のアジアとヨーロッパ （産業革命、アヘン戦争、中国・日本の工業化など） ○市民革命、立憲制、帝国主義政策 ○ヴェルサイユ体制，ワシントン体制 ○ロシア革命 ○アジア・アフリカの民族運動 ○世界恐慌、ファシズムの台頭、冷戦に ○第三世界の台頭、計画経済 ○冷戦構造と先進国の経済成長 ○新自由主義の経済政策 ○ドイツの統一・ソ連の解体、東アジアの分断 ○グローバル化の進展と格差の拡大し ○地域統合や民主主義の動揺
2 (SC①)	P52～P83	3 節 国民国家と明治維新 4 節 近代化と現代的な諸課題	6/30（月）	
3 (SC①)	P84～P111	第3章 国際秩序の変化や大衆化の私たち 1 節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2 節 第一次世界大戦と大衆社会	7/31（木）	
4 (SC②)	P112～P141	3 節 経済危機と第二次世界大戦 4 節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	9/30（火）	
5 (SC②)	P142～P169	第4章 グローバル化と私たち 1 節 グローバル化への問い 2 節 冷戦と世界経済	10/31（金）	
6 (SC②)	P170～P197	3 節 世界秩序の変容と日本 4 節 現代的な諸課題の形成と展望	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	地理歴史	日本史探究	3 単位	後藤 松太郎
指導目標	歴史的な事象について考察し、ときには史料を批判的に読み、評価したりしながら、新しい立場や視点から歴史を考察し再構築する力を身につける。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	日本史探究
レポート課題回数	9 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	3 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P7～P33	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	5/30（金）	○先史社会の生活と文化 ○律令国家と古代文明 ○東アジアの歴史 ○摂関政治と貴族文化
2 (SC①)	P34～P64	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4 2節		
3 (SC①)	P65～P97	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節	6/30（月）	○中世社会の成立および展開 ○南北朝の動乱と室町幕府の成立
4 (SC①)	P98～P122	第3章 中世社会の展開 2		
5 (SC①)	P123～P144	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1	7/31（木）	○室町時代の社会と経済活動、文化 ○近世社会の形成
6 (SC②)	P145～P165	第3章 近世社会の展開 1節2・3・4・5		
7 (SC②)	P166～P186	第3章 近世社会の展開 2節	9/30（火）	○幕藩体制の確立 ○近世社会の成熟と幕藩体制の動揺
8 (SC③)	P187～P217	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節		
9 (SC③)	P218～P239	第3章 近現代社会の展開 2節	10/31（金）	○近代社会の幕開け ○近現代社会の展開 ○国民国家と資本主義の成立
			11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	公民	公共	② 単位	後藤 松太郎
指導目標	社会における公共的な問題や課題について知識を習得し、社会参加しながら社会的責任を果たす人材として様々な場面で自己判断・自己決定できるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から1回分減免	教科書	公共
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P7～P35	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	5/30（金）	○青年期と自己形成、三大世界宗教、功利主義と幸福
2 (SC①)	P36～P83	第3章 公共的な空間における基本的原理 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	6/30（月）	○協働の方法や社会制度の考え方 ○日本国憲法の基本的原理 ○日本と世界の政治体制 ○選挙や政党、防災
3 (SC①)	P84～P111	第2章 法の働きと私たち	7/31（木）	○法の適用とプロセス ○市民生活における私法の役割と意義 ○消費生活と契約、 ○司法のしくみ、裁判員制度
4 (SC②)	P112～P145	第3章 経済社会で生きる私たち	9/30（火）	○社会保障、市場原理、景気、財政 ○社会起業やクラウドファンディング ○税制
5 (SC②)	P146～P173	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち	10/31（金）	○働くことの意義、キャリアの選択とキャリア形成
6 (SC②)	P174～P212	第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画する	11/28（金）	○国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争、国際平和、貿易のしくみ、国際金融、グローバル化と国際経済 ○SDG、課題解決のための考察、構想、自らの考えの説明

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	公民	政治・経済	2 単位	後藤 松太郎
指導目標	政治や経済に関する社会的な意義や影響、システムを理解し、自分自身が政治や経済に関してどのように関わっていくべきか判断できるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	政治・経済
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P4～P47	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	5/30（金）	○民主政治の基本原理、現行憲法と大日
2 (SC①)	P48～P79	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	6/30（月）	
3 (SC①)	P80～P118	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	7/31（木）	○資本主義経済の発展と優位性 ○企業に求められる役割と責任 ○金融と財政 ○現代経済の課題
4 (SC②)	P119～P155	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	9/30（火）	○日本経済の発展と課題 ○公害と環境保全 ○労働と社会保障の権利と責務
5 (SC②)	P156～P203	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	10/31（金）	○現代日本の課題 ○国連が抱える課題 ○近現代の国際秩序の形成過程
6 (SC②)	P204～P254	第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	11/28（金）	○貿易と国際収支のしくみ ○グローバル化する世界経済 ○地球的規模の課題への対処のあり方

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	数学	数学Ⅰ	③ 単位	泉 芳史
指導目標	数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から1回分減免	教科書	新数学Ⅰ
レポート課題回数	9 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	3 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1	P32～P47	1章 数と式 1節 文字と式	5/30(金)	○単項式や多項式の計算 ○展開公式や因数分解公式の利用 ○根号を含む式の計算 ○数の分類 ○1次方程式や1次不等式の性質 ○2次方程式と解の公式 ○1次関数と2次関数のグラフの特徴 ○平方完成とグラフ ○2次関数の最大値・最小値 ○2次方程式，2次不等式 ○三角比の値 ○三角比の利用 ○三角比の利用 ○鈍角の三角比 ○代表値と分散 ○データの比較 ○補集合，共通部分，和集合 ○必要条件，十分条件
2	P48～P57	2節 実数		
3	P58～P71	3節 方程式と不等式	6/30(月)	
4	P74～P91	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	7/31(木)	
5	P92～P101	2節 2次関数の値の変化		
6	P104～P116	3章 三角比 1節 鋭角の三角比	9/30(火)	
7	P117～P127	2節 三角比の応用		
8	P130～P147	4章 データの分析	10/31(金)	
9	P150～P160	5章 集合と論証	11/28(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	数学	数学Ⅱ	4 単位	泉 芳史
指導目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング回数から2回分減免	教科書	新数学Ⅱ
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1	P4～P11	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	5/30(金)	○3次の乗法公式と因数分解 ○パスカルの三角形と二項定理 ○分数式 ○複素数と2次方程式の解の種類 ○解と係数の関係 ○剰余定理，因数定理，高次方程式 ○相加平均と相乗平均 ○内分点や外分点 ○直線の方程式と平行，垂直 ○円の方程式，円と直線 ○不等式が表す領域 ○三角関数，相互関係 ○三角関数のグラフ，周期，性質 ○三角関数の加法定理 ○指数法則，指数関数のグラフ ○指数と対数の関係，対数の性質 ○対数関数のグラフ，常用対数 ○平均変化率，極限值 ○微分係数，導関数，接線の方程式 ○増減表，極大値，極小値 ○不定積分，定積分 ○2曲線に囲まれた面積
2	P12～P19	2節 2次方程式		
3	P20～P32	3節 高次方程式 4節 式と証明	6/30(月)	
4	P34～P51	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式		
5	P52～P64	2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	7/31(木)	
6	P66～P77	3章 三角関数 1節 三角関数		
7	P78～P84	2節 加法定理	9/30(火)	
8	P86～P95	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数		
9	P96～P104	2節 対数関数	10/31(金)	
10	P106～P115	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数		
11	P116～P123	2節 導関数の応用	11/28(金)	
12	P124～P133	3節 積分		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	数学	数学 A	2 単位	泉 芳史
指導目標	場合の数と確率，図形の性質または整数の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	新数学A
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1	P4～P21	1 章 場合の数と確立 1 節 場合の数	5/30(金)	○和の法則，積の法則 ○順列，組合せ ○事象の確率，独立な試行の確率， 反復試行の確率，条件つき確率 ○平面図形の用語・性質 ○三角形の合同と相似 ○三角形の重心、外心、内心 ○角の二等分線と線分の比 ○円周角の定理、方べきの定理 ○2円の位置関係や空間図形と多面体 ○2進法，10進法 ○約数と倍数 ○ユークリッドの互除法
2	P22～P37	2 節 確率	6/30(月)	
3	P40～P49	2 章 図形の性質 1 節 平面図形の基礎	7/31(木)	
4	P50～P57	2 節 三角形の性質	9/30(火)	
5	P58～P75	3 節 円の性質 4 節 空間図形	10/31(金)	
6	P78～P91	3 章 数学と人間の活動 1 節 数や位置を表す 2 節 数のつくりを調べる	11/28(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	数学	数学B	2 単位	泉 芳史
指導目標	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	数学B Standard
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1	P8～P26	1 章 数列 1 節 数列	5/30(金)	○等差数列，等差数列の法和 ○等比数列，等比数列の和 ○数列の和と記号Σ ○いろいろな数列 ○漸化式 ○数学的帰納法 ○母集団と標本 ○確率分布 ○二項分布 ○正規分布 ○母平均の推定 ○仮説検定
2	P27～P41	2 節 いろいろな数列	6/30(月)	
3	P42～P57	3 節 漸化式と数学的帰納法	7/31(木)	
4	P58～P81	2 章 統計的な推測 1 節 標本調査 2 節 確率分布	9/30(火)	
5	P82～P91	3 節 正規分布	10/31(金)	
6	P92～P111	4 節 統計的な推測	11/28(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	数学	数学C	2 単位	泉 芳史
指導目標	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	数学C Standard
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1	P8～P33	1 章 ベクトル 1 節 平面上のベクトル	5/30(金)	○ベクトルの分解，成分，内積 ○位置ベクトル ○空間ベクトル ○放物線，楕円，双曲線 ○曲線の媒介変数表示 ○極座標と極方程式 ○複素数平面 ○ド・モアブルの定理 ○統計，行列，離散
2	P34～P71	2 節 ベクトルの応用 3 節 空間におけるベクトル	6/30(月)	
3	P72～P96	2 章 平面上の曲線 1 節 2 次曲線	7/31(木)	
4	P97～P113	2 節 媒介変数表示と極座標	9/30(火)	
5	P114～P145	3 章 複素数平面 1 節 複素数平面 2 節 図形への応用	10/31(金)	
6	P146～P178	4 章 数学的な表現の工夫	11/28(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	理科	科学と人間生活	●② 単位	望月 昭義
指導目標	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4回分減免	教科書	科学と人間生活
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P14～P37	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	5/30（金）	身のまわりの微生物と、微生物の種類 微生物の発見の歴史と、医薬品と微生物の関わり
2 (SC①)	P38～P65	2章 ヒトの生命現象	6/30（月）	ヒトの生命現象 DNAの構造と、転写・翻訳
3 (SC①)	P66～P103	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 2章 衣料と食品（衣料の科学）	7/31（木）	リサイクル プラスチックの性質と再利用
4 (SC②)	P104～P137	2章 食品の科学 3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	9/30（火）	光の性質 電磁波の性質と利用
5 (SC②)	P138～P179	2章 熱の性質とその利用 4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球	10/31（金）	熱やエネルギー エネルギーの有効活用
6 (SC②)	P180～P207	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 2章 自然景観と自然災害	11/28（金）	太陽の活動と大気の循環 様々な自然災害と防災

通信教育実施計画

年度		教科	科目	単位数	担当者	
2025		理科	化学基礎	▲② 単位	望月 昭義	
指導目標	物質とその変化に関わり、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する					
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4回分減免			教科書	新編化学基礎
レポート課題回数	6 回	合格基準あり			出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1回のスクーリングは50分			副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準60％			評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	P7～P33	1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か 2 章 物質の成分と構成元素	5/30（金）	純物質と混合物の違いと、分離の方法について理解している 原子の構造、電子配置と周期表の関係について理解できている
2 (SC)	P34～47	2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表	6/30（月）	
3 (SC)	P48～P79	2 編 物質の構成 2 章 化学結合	7/31（木）	
4 (SC)	P82～P105	3 編 物質の変化 1 章 物質量と化学変化	9/30（火）	先カンブリア時代から古生代にかけての古生物と地球環境の変遷について理解している 日本の気象災害について季節ごとに理解している
5 (SC)	P106～P135	2 章 酸と塩基	10/31（金）	
6 (SC)	P136～P167	3 章 酸化還元反応	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	理科	生物基礎	▲② 単位	片井 浩輔
指導目標	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4回分減免	教科書	新編生物基礎
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P10～P37	1編 生物の特徴	5/30（金）	細胞 代謝 遺伝子 DNAの複製 転写・翻訳 タンパク質合成 恒常性 自律神経系 内分泌系 循環系 血糖濃度調節 免疫 血液凝固 予防接種 アレルギー、自己免疫疾患、AIDSの理解 バイオーム 遷移 生態系における生物間の関係 生態系の攪乱と復元 生態系の保全
2 (SC①)	P42～P71	2編 遺伝子とそのはたらき	6/30（月）	
3 (SC①)	P76～P99	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	7/31（木）	
4 (SC②)	P100～P117	2章 免疫のはたらき	9/30（火）	
5 (SC②)	P122～P143	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	10/31（金）	
6 (SC②)	P144～P165	2章 生態系と生物の多様性	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	理科	生物	4 単位	片井 浩輔
指導目標	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。また、見通しをもって課題や仮説を設定し、観察や実験などを行い得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に考える力を養う。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 9 回分減免	教科書	生物
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	16 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P8～P29	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1節	5/30（金）	①生物の共通性と多様性をつなぐ進化について理解している。 ②生物の共通性と多様性について理解し、活用することができる。
2 (SC①)	P30～P57	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5		
3 (SC①)	P58～P85	3章 生物の系統と進化	6/30（月）	①脊椎動物のグループについて理解している。 ②DNAの塩基配列に基づく系統樹について具体的な場面も含めて理解している。
4 (SC②)	P86～P127	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質		
5 (SC②)	P128～P159	2章 代謝とエネルギー	7/31（木）	①代謝とエネルギーについて理解している。 ②呼吸について具体的な場面も含めて理解している。
6 (SC②)	P160～P189	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現		

7 (SC)	P190～P235	2章 発生と遺伝子発現	9/30（火）	①原核生物の遺伝子発現の調節について具体的な場面も含めて理解している。 ②真核生物の遺伝子発現の調節について理解している。
8 (SC)	P236～P261	3章 遺伝子を扱う技術		
9 (SC)	P262～P317	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動	10/31（金）	①刺激の受容から反応への流れについて理解している。 ②ニューロンの興奮について具体的な場面も含めて理解している。☒
10 (SC)	P318～P367	3章 植物の環境応答		
11 (SC)	P368～P405	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	11/28（金）	①個体群と環境について具体的な場面も含めて理解している。 ②個体群の構造と成長について具体的な場面も含めて理解している。
12 (SC)	P406～P445	2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	理科	地学基礎	▲② 単位	片井 浩輔
指導目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4 回分減免	教科書	地学基礎
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準60％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	P14～P49	1 編 私たちの大地 1 章 大地とその動き 2 章 火山活動と地震	5/30（金）	地球内部の構造について理解している プレートの運動について理解している
2 (SC)	P52～73	2 編 私たちの空と海 1 章 地球の熱収支 2 章 大気と海水の運動	6/30（月）	大気の構造と大気で起こる現象について理解している 大気や海水の循環について理解している
3 (SC)	P76～P95	3 編 私たちの宇宙の誕生 1 章 宇宙の構造と進化	7/31（木）	天の川銀河の構造と宇宙での物質循環について理解している 太陽家の誕生と太陽系の構成について理解している
4 (SC)	P98～P127	4 編 私たちの地球の歴史 1 章 地層と化石の観察 2 章 古生物の変遷と地球環境	9/30（火）	元カンノリア時代から古生代にかけての古生物と地球環境の変遷について理解している 古生代から新生代にかけての古生物や地球環境の変遷について理解している
5 (SC)	P130～P147	5 編 地球に生きる私たち 1 章 日本の自然のめ	10/31（金）	日本の気象災害について季節ごとに理解している 地震による災害について理解している
6 (SC)	P148～P169	終1 章 地球環境の考え方 終2 章 自然環境の変動 終3 章 これからの地球環境	11/28（金）	地球をシステムとみなす考え方について理解している 自然環境の変化と地球環境問題に対する取り組みについて理解している

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	保健体育	体育 1	③ 単位	浦田 涼脩
指導目標	心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図る。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 9 回分減免	教科書	現代高等保健体育
レポート課題回数	3 回	合格基準あり	出版社	大修館書店
スクーリング回数	15 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	Active Sports
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	p27～p42 p43～p51 p101～p124 p239～p248	・体力づくり運動 ・陸上競技（短距離走・ハードル走） ・選択球技 バスケッボール・バドミントン	6/30(月)	○コーディネーション① ○短距離走・ハードル走 ○バスケッボール・バドミントン ○スポーツの歴史的発展と多様な変化（オリンピック・パラリンピック） ○ダンス ○バレーボール・ソフトテニス・卓球 ○競走・長距離走 ○サッカー・バスケッボール バドミントン・ソフトテニス バレーボール・卓球 グランドゴルフ
2 (SC)	p307～p326 p187～p208 p219～p228 p229～p238	・体育理論（スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について） ・ダンス（現代的なリズムのダンス） ・選択球技 バレーボール・ソフトテニス 卓球	9/30(火)	
3 (SC)	p143～p166 p101～p124	・陸上競技（競走・長距離走） ・選択球技 サッカー・バスケッボール バドミントン・ソフトテニス バレーボール・卓球・グランドゴルフ	11/28(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	保健体育	体育 2	② 単位	浦田 涼脩
指導目標	運動やスポーツの楽しさや喜びを深く味わい、運動やスポーツの多様性や体力の必要性について理解し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 6 回分減免	教科書	現代高等保健体育
レポート課題回数	2 回	合格基準あり	出版社	大修館書店
スクーリング回数	10 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	現代高等保健体育
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、 5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	p27~p42 p81~p100 p101~p124 p239~p248	・ 体力づくり運動 ・ 器械運動 （マット・鉄棒・平均台・跳び箱） ・ 選択球技 バスケットボール・バドミントン	7/31(木)	○コーディネーション② ○マット・鉄棒・平均台・跳び箱 ○バスケットボール・バドミントン
2 (SC)	p187~p208 p219~p228 p229~p238p 143~p166 p101~p124 p43~p49	・ 体育理論（運動やスポーツの効果的な学習の仕方） ・ 選択球技 バレーボール・ソフトテニス 卓球・サッカー・バスケットボール バドミントン・ソフトテニス バレーボール・グランドゴルフ 陸上競技（競走・長距離走）	10/31(金)	○スポーツの技能と技術、スポーツ障害、健康・安全の確保の仕方 ○バレーボール・ソフトテニス 卓球・サッカー・バスケットボール バドミントン・ソフトテニス バレーボール・グランドゴルフ 陸上競技（競走・長距離走）

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	保健体育	体育 3	② 単位	浦田 涼脩
指導目標	運動やスポーツの合理的、計画的な実践を通して、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動やスポーツに親しむ態度を身に付ける。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 6 回分減免	教科書	現代高等保健体育
レポート課題回数	2 回	合格基準あり	出版社	大修館書店
スクーリング回数	10 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	現代高等保健体育
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、 5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	p27~p42 p50~p53	・ 体力づくり運動 （豊かなスポーツライフの設計の仕方） ・ 体育理論	7/31(木)	○コーディネーション③ ○生涯スポーツの見方・考え方 ○ライフスタイルとスポーツライフ ○競走・長距離走 ○サッカー・バスケットボール・バド ミントン・ソフトテニス・バレーボー ル・バドミントン・グランドゴルフ・ゴ ルフ
2 (SC)	p50~p53 p187~p208 p219~p228 p229~p238 p101~p124 p239~p248 p143~p166	・ 陸上競技（競走・長距離走） ・ 選択球技 サッカー・バスケットボール バドミントン・ソフトテニス バレーボール・バドミントン グランドゴルフ・ゴルフ	10/31(金)	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	保健体育	保健	② 単位	浦田 涼脩
指導目標	生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	現代高等保健体育
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	大修館書店
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、 5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	p6~p35	1単元 現代社会と健康 1.健康の考え方と成り立ち 2.私たちの健康のすがた 3.生活習慣病の予防と回復 4.がんの原因と予防 5.がんの治療と回復 6.運動と健康 7.食事と健康 8.休養・睡眠と健康 9.喫煙と健康 10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康	5/30(金)	○さまざまな健康の考えかたとわが国の健康水準の変化とその背景 ○生活習慣病の種類と要因、一次予防、二次予防 ○がんの種類、一次予防と二次予防、治療法や緩和ケアそしてがん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的対策 ○喫煙・飲酒・薬物乱用による健康問題や社会的対策について理解し、健康な生活習慣
2 (SC)	p36~p58	12.精神疾患の特徴 13.精神疾患の予防 14.精神疾患からの回復 15.現代の感染症 16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防 18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり	6/30(月)	○精神疾患の発病の要因とおもな症状、精神疾患の予防、治療 ○感染症への個人と社会の対策 ○社会環境の健康への影響 ○ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴
3 (SC)	p60~p75	2 単元 安全な社会生活 1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法	7/31(木)	○安全のために必要な個人の行動 ○交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備 ○応急手当の意義 ○心肺蘇生法の方法と手順

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	保健体育	保健	② 単位	浦田 涼脩
指導目標	生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 1 回分減免	教科書	現代高等保健体育
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	大修館書店
スクーリング回数	2 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30%	評価・評定	100点法、 5 段階評価

4 (SC)	p76~p91	3 単元 生涯を通じる健康 1.ライフステージと健康 2.思春期と健康 3.性意識と性行動の選択 4.妊娠・出産と健康 5.避妊法と人工妊娠中絶 6.結婚生活と健康 7.中高年期と健康	9/30(火)	○ライフステージと健康の関連 (妊娠・出産) ○思春期の心身の発達にかかわって起 こる問題 ○家族計画の意義と適切な避妊法 ○人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響 ○結婚生活を送るために必要な考え方や行動 ○高齢社会に必要な社会的な取り組み
5 (SC)	p92~98	8.働くことと健康 9.労働災害と健康 10.健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり 1.大気汚染と健康 2.水質汚濁，土壌汚染と健康 3.環境と健康にかかわる対策 4.ごみの処理と上下水道の整備	10/31(金)	○働き方や働く人の健康問題（労働災害） ○余暇の意義 ○環境汚染による健康被害を防ぐ方法 ○産業廃棄物（ごみ・上下水道）の処理
6 (SC)	p110~p129	5.食品の安全性 6.食品衛生にかかわる活動 7.保健サービスとその活用 8.医療サービスとその活用 9.医療品の制度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加	11/28(金)	○食品の安全性と健康とのかかわり ○保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 ○健康の保持増進のための環境づくり

通信教育実施計画

年度		教科		科目	単位数	担当者	
2025		芸術		書道Ⅰ	② 単位	松本 浩昌	
指導目標		書道の幅広い活動を通して、基礎的な技能を身につける。また、書の伝統や文化に親しみ、生涯にわたって書を愛好する心情を育む。					
放送視聴課題		あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4回分減免			教科書	書道Ⅰ
レポート課題回数		6 回	合格基準あり			出版社	東京書籍
スクーリング回数		8 回	1回のスクーリングは50分			副教材	なし
評価試験		0 回	最低合格基準30％			評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①②)	P2～P9	書写から書道へ	5/30（金）	○楷書・行書の基本、書く際の配列の基本 ○書道で使用する用具・用材 ○漢字の成立と変遷 ○代表的な楷書作品の人物と時代、作品の概要 ○行書の特徴 ○代表的な行書作品の人物・時代・作品の概要 ○草書・隸書・篆書、それぞれの成立・特徴 ○鑑賞の観点 ○平仮名の単体、変体仮名、連綿 ○仮名の古筆作品の概要・時代と人物 ○漢字仮名交じりの書の表現 ○生活の書
2 (SC③)	P10～P37	漢字の書 漢字の成立と変遷,古典に基づく学習,楷書	6/30（月）	
3 (SC④)	P38～P58	行書	7/31（木）	
4 (SC⑤⑥)	P59～P73	草書,隸書,篆書	9/30（火）	
5 (SC⑦⑧)	P74～P103	仮名の書	10/31（金）	
6 (SC⑨⑩⑪⑫)	P104～P138	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	11/28（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	外国語	英語コミュニケーションⅠ	③ 単位	山崎 昭彦
指導目標	英語の基本的な文法の理解、語彙力の強化をする。適切に辞書を使い、簡単な表現を自分でできるようにする。英語 5 技能をバランスよく向上させることを目指す。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 7 回分減免	教科書	All Aboard! English Communication I
レポート課題回数	9 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	12 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	p.8～37	Warm-up1-3 アルファベット、日常の英語、辞書の使い方 Pre-lesson1-2 be動詞、一般動詞 Lesson1 Lesson2	5/30（金）	○日常生活にある英単語、辞書の使い方 ○be動詞と一般動詞、疑問文と否定文、文の構造 ○接続詞becauseの使い方(好きな食べ物) ○be動詞と一般動詞の過去形、疑問文、否定文 ○接続詞becauseの使い方(好きな動物) ○現在進行形、疑問文、否定文、文法まとめ
2 (SC②)	p.38～47	Lesson3	5/30（金）	○助動詞 ○命令文を用いた交通手段の案内
3 (SC③)	p.48～59	Lesson4	6/30（月）	○to不定詞の3用法(want, be able toを使った表現) ○接続詞whenとthatの使い方
4 (SC④)	p.60～87	Lesson5, Reading1 Lesson6	7/31（木）	○動名詞とto不定詞、第四文型、知覚動詞 ○ショートストーリーの音読 ○好きな絵について理由を含めたスピーチ ○受け身
5 (SC⑤)	p.88～97	Lesson7	7/31（木）	○英語日記 ○比較級
6 (SC⑥⑦⑧⑨)	p.98～111	Lesson8	9/30（火）	○現在完了形 ○第四文型と第五文型
7 (SC⑩⑪⑫)	p.112～121	Lesson9	9/30（火）	○現在分詞・過去分詞の後置修飾
8 (SC⑬⑭⑮)	p.122～131	Lesson10	10/31（金）	○関係代名詞who, which, that
9 (SC⑯⑰)	p.132～141	Reading2	11/28（金）	○関係副詞where ○仮定法過去

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	外国語	英語コミュニケーションⅡ	4 単位	山崎 昭彦
指導目標	既習の文法は定着させ一つ上の文法を上乗せしていく。更なる語彙力の強化をし、5 技能の中で適切に使えるようにする。5 技能の向上を目指す。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 9 回分減免	教科書	All Aboard! English Communication II
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	16 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①②)	p.8～19	Pre-Lesson1、Lesson1	5/30（木）	○want to 不定詞を使った表現 ○関係代名詞what ○形容詞/副詞の比較級/最上級 ○自分の感情を表現する
2 (SC③)	p.20～29	Lesson2		
3 (SC④)	p.30～41	Lesson3	6/30（月）	○It構文(It is ～ to V) ○関係代名詞what、比較級/最上級、It構文の復習 ○間接疑問文 ○現在完了進行形
4 (SC⑤)	p.42～55	Lesson4		
5 (SC⑥)	p.56～69	Lesson5	7/31（木）	○日本の伝統文化について英語で説明する ○want/ask 人 to V ○物語を朗読する ○関係疑問文、現在完了進行形、不定詞の復習
6 (SC⑦)	p.70～77	Reading1		
7 (SC⑧・⑩)	p.78～91	Lesson6	9/30（火）	○地元の有名なものについて英語で説明する ○将来就きたい職業について英語で説明する ○関係副詞when/where ○入国審査・乗換案内の表現
8 (SC⑫⑬)	p.92～105	Lesson7		
9 (SC⑭-⑯)	p.106～119	Lesson8	10/31（金）	○知覚動詞、動詞の目的語となるif節 ○関係代名詞when/where、if節の復習 ○使役動詞 ○仮定法過去
10 (SC⑰-⑱)	p.120～133	Lesson9		
11 (SC⑳㉑)	p.134～147	Lesson10	11/28（金）	○分詞構文(付帯状況) ○使役動詞、仮定法過去、分詞構文の復習 ○物語の続きを考え、英語で台本を作り朗読劇をする ○一日の流れを英語で説明する
12 (SC㉒㉓)	p.148～155	Reading2		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	外国語	英語コミュニケーションⅢ	4 単位	山崎 昭彦
指導目標	既習の文法は定着させ一つ上の文法を上乗せしていく。更なる語彙力の強化をし、5 技能の中で適切に使えるようにする。5 技能の向上を目指す。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 9 回分減免	教科書	All Aboard! English Communication IⅢ
レポート課題回数	12 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	16 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①②)	p.4～11	Lesson1	5/30（木）	○to不定詞 ○調べた事項を用いて情報や考えを発信する ○現剤完了形 ○情報や感想などを伝え合える
2 (SC③)	p.12～19	Lesson2		
3 (SC④)	p.20～27	Lesson3	6/30（月）	○使役動詞 ○情報や考え、気持ちを伝え合える ○受け身 ○ミニディベート
4 (SC⑤)	p.28～37	Lesson4		
5 (SC⑥)	p.38～47	Lesson5	7/31（木）	○関係代名詞who, which, that ○プレゼンテーション ○英語で書かれた内容の理解 ○要点を捉える
6 (SC⑦)	p.48～53	Reading1		
7 (SC⑧・⑩)	p.54～63	Lesson6	9/30（火）	○関係代名詞(who, which)の非制限用法 ○パラグラフライティング ○比較表現 ○プレゼンテーション
8 (SC⑫⑬)	p.64～73	Lesson7		
9 (SC⑭-⑯)	p.74～83	Lesson8	10/31（金）	○分詞の後置修飾 ○まとまりのあるパラグラフ ○仮定法過去、仮定法過去完了 ○ミニディベート
10 (SC⑰-⑲)	p.84～95	Lesson9		
11 (SC⑳㉑)	p.96～105	Lesson10	11/28（金）	○関係代名詞whose ○エッセイ ○英語で書かれた内容の理解 ○要点を捉える
12 (SC㉒㉓)	p.106～111	Reading2		

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	外国語	論理・表現Ⅰ	2 単位	山崎 昭彦
指導目標	言語の働きや役割などを理解し、4技能を身に付けていく。幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり表現できるようにする。また、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を伸ばす。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4 回分減免	教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression I
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①-④)	p.14～31	Unit1 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	5/30（金）	○未来表現、可算名詞／不可算名詞、受動態、現在完了と過去形、to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする
2 (SC⑤-⑧)	p.32～49	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	6/30（月）	○冠詞、人称代名詞、助動詞shouldとhad better、現在形と現在進行形、現在完了と過去形、後置修飾、to不定詞と動名詞などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする
3 (SC⑨-⑫)	p.50～67	Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	7/31(木)	○未来表現、前置修飾／後置修飾などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする
4 (SC⑬-⑯)	p.68～87	Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12	9/30(火)	○使役動詞、to不定詞と動名詞、仮定法などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする
5 (SC⑰-⑳)	p.88～111	Unit 2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	10/31(金)	○to不定詞と動名詞、否定語の使い方、後置修飾、受動態、現在完了形と過去形などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする
6 (SC㉑-㉔)	p.112～135	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	11/28(金)	○and, but, so、名詞と無生物主語などの語法を意識しながら重要表現を身に付け、自分の考えや意見を述べるができるようにする ○意見を述べる際に役立つディスコースマーカーを押さえる

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	外国語	論理・表現Ⅱ	2 単位	山崎 昭彦
指導目標	幅広い話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり表現できるようにする。また、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から4 回分減免	教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression II
レポート課題回数	6 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	8 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準60％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①～④)	p.8～p.23	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	5/30（金）	訂正する・心配する・感謝する際の英語表現を身に付ける。 驚く・繰り返す・言い換える際の英語表現を身に付ける。 望む・褒める際の英語表現を身に付ける。
2 (SC⑤～⑧)	p.24～p.39	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8	6/30（月）	
3 (SC⑨～⑫)	p.40～p.56	Lesson9 Lesson10 Lesson11 Lesson12	7/31(木)	依頼する・提案する際の英語表現を身に付ける。 仮定する・反対する際の英語表現を身に付ける。 報告する・比較して説明する際の英語表現を身に付ける。 説明する・理由を述べる・仮定する際の英語表現を身に付ける。
4 (SC⑬～⑯)	p.58～p.69	Lesson1 Lesson2 Lesson3	9/30(火)	肯定側立論と否定側反駁において、推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 否定側立論と肯定側反駁において、主張する・推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 否定側まとめのスピーチにおいて、推論する・説得する際の英語表現を身に付ける。
5 (SC⑰～⑳)	p.70～p.77	Lesson4 Lesson5	10/31(金)	調査結果について、報告する・展望を述べる際の英語表現を身に付ける。 問題について、説明する・主張する・提案する際の英語表現を身に付ける。
6 (SC㉑～㉔)	p.78～p.90	Lesson6 Lesson7 Lesson8	11/28(金)	仮定する・推論する際の英語表現を身に付ける。 比較する・類似点と相違点を説明する英語表現を身に付ける。 主張する・読み手を説得する際の英語表現を身に付ける。

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	家庭	家庭基礎	② 単位	深澤 園美
指導目標	家庭生活に必要な知識・技能を身に付け、個人や家族、さらに社会に貢献できる職業技術を身に付けること。家族や地域社会の中で自己を理解し、生涯にわたり健康的で充実した家庭生活を送るための考え方や生活習慣を身につけること			
放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から 2 回分減免	教科書	家庭基礎
レポート課題回数	4 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
スクーリング回数	4 回	1 回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5 段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC)	P12～37	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	5/30（金）	○人口減少時代が到来していることを理解し、これからの時代をどう生きていくかを考える。○自立の種類と内容を理解する。 ○命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖について理解する。○子どもの発達過程について理解してする。 ○よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する ○郷土食や行事食のよいところを継承するために、日本や世界の食文化の特徴を確認する。○社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。
2 (SC)	P38 ～77	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	6/30（月）	
3 (SC)	P78～118	第5章 共に生き，共に支える生活の自立 第6章 食生活をつくる	9/30（火）	
4 (SC)	P119～P163	第6章 食生活をつくる 6・7 第7章 衣生活をつくる	10/31（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者	
2025	情報	情報Ⅰ	② 単位	岩科 剛正	
指導目標	情報社会との関りについて考えながら情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解させる。				
	放送視聴課題	あり（希望制）	条件を満たせば下記スクーリング 回数から2回分減免	教科書	新編情報Ⅰ
	レポート課題回数	4 回	合格基準あり	出版社	東京書籍
	スクーリング回数	4 回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
	評価試験	1 回	最低合格基準30％	評価・評定	100点法、5段階評価

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント（テスト範囲）
1 (SC①)	P5～P32	1章 情報で問題を解決する	5/30（金）	○情報とメディア ○情報モラル ○問題解決 ○コミュニケーションとデジタル ○画像とデジタル○情報デザイン ○コンピュータの構成○演算のしくみ ○プログラムとシミュレーション ○インターネットと情報セキュリティ ○情報における様々な活動 ○ソフトウェアとプログラミング言語
2 (SC②)	P33～P60	2章 情報を伝える	6/30（月）	
3 (SC③)	P61～P116	3章 コンピュータを活用する 4章 データを活用する	9/30（火）	
4 (SC④)	P117～P149	5章 活動して提案する	10/31（金）	

通信教育実施計画

年度	教科	科目	単位数	担当者
2025	総合的な探究の時間1～3	自主独往	① 単位	浦田 涼脩
指導目標	「生きる力」をより具体化する。教育課程全体を通して「何を理解していて何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）」、「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」、「どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」）」を意識して、「整理・分析」「まとめ・表現」する。			
放送視聴課題	なし		教科書	都度資料配布
レポート課題回数	1 回	リフレクションシートを提出	出版社	なし
スクーリング回数	1 回		副教材	なし
評価試験	0 回		評価・評定	文章で評価、評定なし

レポート回 (SC回)	教科書p	単元	レポート締切	評価のポイント
総学1		進路学習を通じて「生きる力」を考える。 (専門学校進学を見据えて)	実施の終わりにリフレクションシートを作成、提出する。	指導目標に掲げる3つの力を、自分事として捉え、自分事としていかに考察することができたか。
総学2		進路学習を通じて「生きる力」を考える。 (大学・短大進学を見据えて)	実施の終わりにリフレクションシートを作成、提出する。	指導目標に掲げる3つの力を、自分事として捉え、自分事としていかに考察することができたか。
総学3		進路学習を通じて「生きる力」を考える。 (就職を見据えて)	実施の終わりにリフレクションシートを作成、提出する。	指導目標に掲げる3つの力を、自分事として捉え、自分事としていかに考察することができたか。